

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中央公民館事務事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	06	04	02
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中央公民館利用者、3公民館利用者、南流山センター・おたかの森センター利用者	意図	4公民館と南流山センター・おたかの森センターを統括し、利用者が快適に利用、参加できる状態にする。
事業内容	窓口など利用者へのサービスの充実と生涯学習を学ぶ市民のために利用しやすい環境を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	開館当時より紙ベースの申請書による受付が行われてきたが、平成16年10月から予約システム導入。平成28年4月からは新システムへの移行が行われた。公民館連絡協議会や公民館研究大会への参加を通して、各市等との情報交換、事業運営の向上を図っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	中央公民館施設利用件数の増減率	-4.90	-0.50	13.20	%
②	中央公民館施設利用人数の増減率	1.10	-3.80	33.70	%	▲▲	当該年度/前年度-1*100
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設予約システムの充実を図り、市民の生涯学習活動の中心的な役割を進めていく。 ・各公民館との情報や課題の共有化を図り、さらなる連携を深めていく。 ・公民館連絡協議会や公民館研究大会への参加を通して、各市等との情報交換、事業運営の向上を図っている。 		

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,459,748	5,375,600	6,165,153
事業費(b)(円)	481,198	550,620	534,433
うち一般財源	481,198	550,620	534,433
職員給与費(c)(円)	3,978,550	4,824,980	5,630,720
人役・職員(人)	0.21	0.34	0.46
人役・再任用(人)	0.40	0.40	0.40
人役・臨職(人)	1.10	1.10	1.10
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市内公民館と連携した事業を展開する。また、公民館連絡協議会を通し、各市等との情報交換を行う。	③取組における課題(Check)	運営面について常に市内6館が共有認識の必要性が生じる。利用者が希望する施設を利用したいため、一部の利用者の予約方法に問題も出ている。
②H30に実施した取組(Do)	公民館の運営について毎月1回指定管理者連絡会議を行い情報及び課題を共有した。また、公民館連絡協議会に参加し、他市等と情報交換を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	利用者にとっての公平性を確保するため、問題がある団体に指導し改善を図るほか、市内公民館等の連携を図る。